

大阪コミュニティワーカー専門学校3つのポリシー

○入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本校はキリスト教の精神に基づき、広い国際的視野と豊かな人間形成をはかると共に、地域福祉の専門家として必要な知識及び実技を習得させ、社会の発展に貢献できる人材の養成を目的としている。

- ・本校建学の目的を十分に理解し、介護福祉士資格取得を目指す者。
- ・「人の命と生活を守る」責任ある専門性を身につけ社会・地域に貢献したいと考える者。
- ・隣人愛の実践「人にしてもらいたいと思うことを人にとすること」の理念に賛同する者。

○教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

介護福祉士としての知識、技能などを習得させるために、「人間と社会」・「介護」・「こころとからだのしくみ」・「医療的ケア」それぞれの領域科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習等を適切に組み合わせたカリキュラムを構成する。

- ・介護福祉士として科学的介護、根拠に基づいた介護を実践する力を養う。
- ・福祉現場の中にある学校という特色を活かし、地域福祉専門者としての視点を養う。
- ・実習において数多くの実習現場を体験することで、幅広い知識・技術・理念等を学ぶ。
- ・介護予防学などをはじめとした関連科目を履修することで、現場での応用力を養う。
- ・日本の様々な文化を学ぶことで個人を深く理解する力を養う。

○卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

カリキュラムポリシーに沿って設定した科目を履修し、介護福祉専門職者として社会・地域に貢献できる能力を備えた者に「介護福祉士国家試験受験資格」及び「専門士」を授与する。

- ・人権を尊重し、人間の尊厳を守るための思考、行動ができる者。
- ・根拠に基づいた介護実践力、専門職として現場で活躍することができる知識・技術・態度を身につけている者。
- ・チームケアに必要な協調性、多職種と協働できる能力を有している者。
- ・介護福祉のニーズに柔軟に対応でき、社会・地域に貢献できる能力を有している者。
- ・自己研鑽の意識を持ち続けるとともに、リーダーシップを発揮することができる人材として期待できる者。
- ・隣人愛の理念を理解し、実践することができる者。